

日本のひなた宮崎国スポ西都市開催推進総合計画

第81回国民スポーツ大会「日本のひなた宮崎国スポ」（以下「宮崎国スポ」という。）の成功に向け、市民との協働により知恵と工夫を結集し、本市の多彩な魅力を全国に発信するとともに、誰もが生涯を通じてスポーツに親しむ契機となる大会を目指し、開催推進総合計画を定めるものとする。

1 基本方針

(1) 総務・企画

県、競技団体、関係機関及び関係団体と緊密に連携し、宮崎国スポを一過性のスポーツイベントとせず、その開催を通じて市民が西都に愛着と誇りを持つ大会とするため、総合的な計画の立案と施策の推進を図る。

(2) 財務

県、競技団体、関係機関及び関係団体の支援を積極的に活用しながら、相互協力のもと、創意工夫を凝らした魅力あふれる大会を目指し、適切で効率的な財務の運営を図る。

(3) 広報

宮崎国スポ開催に対する市民の関心や参加意欲を高めるため、多様な媒体を計画的かつ効果的に活用した広報活動を展開するとともに、歴史、文化、自然など本市の多彩な魅力を全国に向けて発信する。

(4) 市民運動

市民、企業、団体、行政などの多様な主体が宮崎国スポ開催の意義を理解し、それぞれの立場で積極的に参加し、新たなつながりを生み出しながら一丸となって大会を盛り上げていくことで、宮崎国スポでの経験をその後の市民運動によるまちづくりの推進につなげる。

(5) 歓迎・接伴

選手・監督をはじめ、本市を訪れるすべての方々を温かくお迎えするとともに、歴史、文化、自然など本市の多彩な魅力に触れていただくことで、「また訪れたい」と感じていただけるよう心のこもったおもてなしを提供する。

(6) 競技

県、競技団体、関係機関及び関係団体と緊密に連携し、競技会の円滑な運営を図るとともに、競技運営に必要な用具等については、可能な限り現有の

ものを活用するなど効率的に整備する。

(7) 式典

県、競技団体、関係機関及び関係団体と十分に協議をし、簡素・効率化等を図りつつ、本市の特色を生かした式典とする。

(8) 施設

国民スポーツ大会開催基準要項に規定されている施設基準を尊重し、既存施設の有効活用を図るとともに、宮崎国スポの開催後の市民利用にも配慮した整備に努める。

(9) 宿泊・弁当

選手・監督をはじめ、大会関係者等の宿泊については、本市以外の宿泊施設とも緊密に連携し、安全で快適な宿舎の確保を図り、受け入れ体制に万全を期する。弁当においては、衛生面や栄養バランスを考慮するとともに、地元の新鮮な食材を取り入れた郷土色豊かなメニューとする。

(10) 医事・衛生

選手・監督をはじめ、大会に関わる全ての方々の健康を確保するとともに、大会を快適な環境のもとで開催するため、地元医師会や衛生事業所等と緊密に連携し、医事・衛生体制の確立を図る。

(11) 輸送・交通

本市の交通事情を勘案し、交通事業者及びその他関係機関等と緊密に連携することで、安全かつ効率的で確実な輸送手段の確保に努めるとともに、公共交通機関の利用を促進するなど、交通混雑の緩和と環境に配慮した輸送・交通体制の確立を図る。

(12) 消防防災・警備

競技会場その他大会関係施設における災害の防止、治安の確保及び非常時における緊急対応に万全を期するため、消防、警察その他関係機関等と緊密に連携し、消防防災・警備体制の確立を図る。

2 年次計画

日本のひなた宮崎国スポ西都市開催推進総合年次計画（年度別業務一覧）は、別表のとおりとする。

また、年次計画は進行管理を行うとともに、適宜見直しを行う。